

平成30年 1 月11日

JCHO 北海道病院において診療を受けられた

患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当地域医療機能推進機構北海道病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録などをまとめることによって行います。このような研究は、「ヘルシンキ宣言（2013年10月修正）」及び厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご参照ください。

〔研究課題名〕 呼吸器疾患で入院した患者の褥瘡発生に影響する要因

〔研究機関〕 独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院 褥瘡管理室

〔研究責任者〕 安田 瑞貴

〔研究の目的〕 呼吸器疾患で入院し、自立度Cになった患者を対象として、褥瘡発生に影響する要因を明らかにする

〔研究の方法〕

対象患者は2016年4月から2017年3月に当院の呼吸器内科病棟に入院した方となります。

利用する情報は、以下の通りです。

① 褥瘡危険因子

年齢、性別、OH スケールに基づく①自力体位変換能力、②病的骨突出状態、③浮腫、④関節硬縮および①～④の合計点（OH スコアを危険要因レベル軽度・中等度・高度に分類する）、マットレスの種類（アドバン、ソフィア、ナッソー）、血液検査データ（アルブミン、総リンパ球数、ヘモグロビン）、血液データは自立度Cになった時点のデータを用いる。体格指数（BMI）、栄養ルート、TEE にしての実際の補給カロリー、DESIGN-R（褥瘡状態判定スケール）合計点の最大値

②呼吸器に関する褥瘡発生要因

呼吸器科疾患群、呼吸苦、疼痛、酸素やNPPVの使用の有無、気管内挿管の有無

分析方法

収集した情報をデータ化し、褥瘡の有無に影響する要因を重回帰分析を用いて検討します。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、情報と無関係な番号を付し管理されますが、住所など、ご本人と直接同定できる個人情報は一切使用しません。また、研究成果は学会等で発表されますが、その際にもご本人と特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

〒062-8618 北海道札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院 褥瘡管理室

皮膚・排泄ケア認定看護師 安田 瑞貴(研究責任者)

電話 011-831-5151      FAX 011-821-3851